

④8 富山市芸術文化ホール中ホール整備官民連携事業

受賞機関 富山市 企画管理部 文化国際課

キーワード PFI事業、官民連携事業、にぎわい創出

全建賞審査委員会の評価ポイント

PFI事業による芸術文化ホール整備。民間のノウハウを生かし、多様な利用者のニーズに配慮した劇場を整備した点や、余剰地を民間企業へ売却、民間複合施設を誘致し、ストリート空間も併せて整備してエリア全体のにぎわいを創出し、付加価値を高めた点が評価された。

1. はじめに

富山市芸術文化ホールの更なる活性化を図るため、外部委員による検討会議において「演目の幅がより一層広がり、利用が促進されるよう、当該ホール（大ホール）の北側市有地の活用も含めた中規模のホールの整備についての検討」を求められ、整備を行う方針とした。

2. 事業の概要・成果

「大ホールと連携し、市民の芸術文化活動の充実に資する施設」、「多様な芸術文化に親しむことができる施設」、「市民ニーズに合った、市民が使いやすい施設」を基本方針とし、PFI事業により中ホールの整備を行った（令和5年度末竣工）。

中ホールは最大652席の可動式客席を備えており、収容人数の多い大ホールでは開催が難しかった公演をはじめ、比較的小規模なグループや地域の芸術文化団体の活動及び学校行事にも気軽に利用できるほか、館内には音楽やダンス、アートなどのイベントにも気軽に利用できる練習室（3室）や音楽鑑賞室を整備した。



富山市芸術文化ホール中ホールの座席

また、今回の整備では、路面電車の南北一体化を見据え、コンパクトシティ施策における富山駅北エリアの拠点として、人々の交流を生み出すことでにぎわいを創出し、まちの活性化に資するため、余剰地を売却し民間付帯事業と一体的に実施することで、敷地全体の魅力向上に繋げることとした。

余剰地には、1階にはカフェなどの飲食・物販施設が、2階から7階には最大で約50社・約1,000人の就業を見込むオフィスの民間複合施設が整備された。駅南北の新たな商業施設の開業など、商業・観光・文化等の分野を横断した開発を通じ、エリア全体の魅力や付加価値は更に高まるものと考ええる。

3. おわりに

官民連携で進めたこの事業は、市民の活動の「舞台」を用意するものであり、このエリアに集う「人」が「演じ手」となり、中ホールで一流の演劇を鑑賞した後、興奮冷めやらぬまま民間複合施設の飲食店でお酒を嗜みながら隣り合った人々と感動を語り合うことや、テイクアウトした料理やお酒を中ホールに持ち込み、仕事帰りに上質な音楽や演劇を楽しむなど、それぞれの物語を楽しむことで、人々の潤いのある営みが場の力を高め、更なるにぎわいを創出するといった正のスパイラルに繋がることを期待している。また、駅周辺の公共施設と民間の複合施設が相互に補完することで、エリア全体の価値とその場に集う人々の満足度を高めるといった、新たな官民共創の形を示唆できるものと考ええる。

そのほか、中ホールと民間複合施設の間に民間付帯事業にて幅約12m×延長約100mのストリート空間を整備しており、官民が連携して公共空間を整備することにより、単なる通路空間ではなく、地域の広場として多様なイベントや日常利用が可能な空間となり、駅から周辺施設への回遊性を向上させ、エリアのにぎわいを創出し都市の活性化に寄与するものと考ええる。



ストリート空間におけるイベントイメージ

賛助会員 佐藤工業(株)